

- * 米国本社リリース参考訳
- * 公式リリースは[P & G米国本社サイト](#)をご覧ください。

P & G 2023/24 事業年度 第2四半期(10-12月期)業績

第2四半期米国会計基準：純売上高3%増、希薄化後1株当たり純利益12%減の1.40ドル

第2四半期中核業績：本源的売上高4%増、1株当たり中核利益16%増の1.84ドル

1株当たり純利益の見通しを更新し、1株当たり中核利益の成長見通しを上方修正

2024年1月23日 米国シンシナティ発

ザ・プロクター・アンド・ギャンブル・カンパニー(NYSE:PG)は、2024事業年度第2四半期の純売上高が、前年同期比3%増の214億ドルであったと発表しました。事業の買収・売却の影響と為替レートの影響を除いた本源的売上高は、4%増加しました。希薄化後1株当たり純利益は、主として、「ジレット」の無形資産の帳簿価額に現金支出を伴わない減損処理を加えたために、前年に比べ12%減少して1.40ドルになりました。1株当たり中核利益は、前年同期と比べ16%増加して1.84ドルになりました。

当四半期の営業キャッシュフローは51億ドルで、純利益は35億ドルでした。設備投資支出を差し引いた営業活動によるキャッシュフローが、「ジレット」の減損損失を除いた純利益に対して占める割合である調整済フリーキャッシュフロー生産性は95%でした。当社は、約23億ドルの配当金、10億ドルの自社株式の買い戻しにより、合計33億ドルを株主の皆様に還元しました。

単位：十億ドル、ただし1株当たりの数値を除く

第2四半期(10-12月期)							
米国会計基準	2024年度	2023年度	%増減	会計基準外	2024年度	2023年度	%増減
純売上高	\$21.4	\$20.8	3%	本源的売上高	—	—	4%
希薄化後1株当たり利益	\$1.40	\$1.59	-12%	1株当たり中核利益	\$1.84	\$1.59	16%

* 定義と、その関連のある米国会計基準上の指標との差異説明は、添付書類1：米国会計原則で規定されない財務指標をご参照ください。

取締役会会長、社長兼最高経営責任者(CEO)ジョン・モラーは、「当社は、第2四半期において、力強い業績を達成し、年度通期中核利益の見通しを上方修正して、年度通期の純売上高の見通しを維持することができました。当社は、その性能により消費者が使用するブランドを決定している日用品カテゴリーの製品への集中や(製品、パッケージ、ブランドのコミュニケーション、店頭展開、ならびに、消費者と得意先への付加価値にわたる)優位性、生産性の向上、建設的な破壊、柔軟で責任ある組織の形成という統合的な戦略の実行に、引き続き専念していきます。P & Gのチームがこの戦略を実施することで、当社は、力強い勢いを築き、維持していくことができます。当社は、これらが、引き続き、バランスの取れた成長を達成し、付加価値を生み出すための正しい戦略だと確信しています」と述べています。

10-12 月期について

2024 事業年度第 2 四半期の純売上高は、前年同期比 3%増の 214 億ドルでした。事業の買収・売却の影響と為替レートの影響を除いた本源的売上高は、4%増加しました。本源的売上高の増加は、価格改定の 4%増によりもたらされ、販売数量の 1%減により一部相殺されました。ミックスは当四半期の売上高成長に影響を与えませんでした。

2023年10-12月期	販売	為替	価格				本源的	本源的
純売上高増減要因(1)	数量	レート	改定	ミックス	その他(2)	純売上高	販売量	売上高
ビューティー事業	-1%	-1%	4%	-3%	1%	1%	-1%	1%
グルーミング事業	1%	-3%	7%	1%	-1%	6%	1%	9%
ヘルスケア事業	-3%	2%	5%	1%	-1%	4%	-4%	2%
ファブリック& ホームケア事業	-1%	-1%	4%	1%	-1%	5%	1%	6%
ベビー、フェミニン& ファミリーケア事業	-2%	-1%	4%	1%	-1%	2%	-2%	3%
P & G 全体	-1%	-1%	4%	-1%	-1%	3%	-1%	4%

(1) これらの純売上高に係る増減割合は、継続的に適用している計算方法に基づく概算値です。

(2) その他には事業の買収・売却による売上ミックスの影響、販売数量と純売上高との差異分析に欠かせない端数処理が含まれています。

- ビューティー事業セグメントの本源的売上高は、前年同期と比べ 1%増加しました。スキン&パーソナルケア部門の本源的売上高は、販売数量の減少と「SK-II」の売上減少による不利なミックスが、価格改定で一部相殺され、一桁台半ばの減少となりました。ヘアケア部門の本源的売上高は、価格改定、プレミアム製品による有利なミックス、ならびに、主に、北米での販売数量の増加により、一桁台後半の増加となりました。
- グルーミング事業セグメントの本源的売上高は、価格改定とプレミアム製品による有利なミックス、ならびに、販売数量の増加により、前年同期と比べ 9%増加しました。
- ヘルスケア事業セグメントの本源的売上高は、前年と比べ 2%成長しました。オーラルケア部門の本源的売上高は、価格改定とプレミアム製品によるミックスの効果が、主にラテンアメリカとアジアにおける販売数量の減少で一部相殺されて、一桁台半ばの増加となりました。パーソナルヘルスケア部門の本源的売上高は、販売数量の減少と呼吸器用製品の市場の縮小による不利なミックスが、価格改定で一部相殺され、一桁台前半の減少となりました。
- ファブリック&ホームケア事業セグメントの本源的売上高は、前年同期と比べ 6%成長しました。ファブリックケア部門の本源的売上高は、価格設定の見直し、および、プレミアム製品と柔軟剤製品に起因する有利なミックスにより、一桁台半ばの増加となりました。ホームケア部門の本源的売上高は、価格改定、プレミアム製品による有利なミッ

クス、ならびに、製品革新による販売数量の増加により、一桁台後半の増加となりました。

- ベビー、フェミニン&ファミリーケア事業セグメントの本源的売上高は、3%成長しました。ベビーケア部門の本源的売上高は、価格改定と有利な製品ミックスによる効果が、販売数量の減少で相殺されて、増減なしとなりました。フェミニンケア部門の本源的売上高は、価格改定と有利な製品ミックスによる効果が、海外市場での価格改定に関連する販売数量の減少で一部相殺され、一桁台半ばの増加となりました。ファミリーケア部門の本源的売上高は、主として販売数量の増加により、一桁台半ばの増加となりました。

2024 事業年度通期の見通し

P & Gは、2024 事業年度通期のすべてを含めた純売上高が前年度比 2~4%の範囲で増加するとの見込みを維持しました。為替レートは、すべてを含めた純売上高の増加に対し、約 1~2%の悪影響を及ぼすものと予想されます。また、当社は、本源的売上高が 4~5%の範囲で増加するとの見通しを維持しました。

P & Gについて

P & Gは、高い信頼と優れた品質で、市場をリードする製品ブランドを世界中の人々にお届けしています。それらのブランドには、オールウェイズ®、アンビピュア®、アリエール®、バウンティ®、シャーミン®、クレスト®、ドーン®、ダウニー®、フェアリー®、ファブリーズ®、ゲイン®、ジレット®、ヘッド&ショルダーズ®、レノア®、オレイ®、オーラルB®、パンパス®、パンテーン®、SK-II®、タイド®、ヴィックス®、ウイスパー®などが含まれます。P & Gは約 70 カ国に現地事業拠点を置き、世界的に事業を展開しています。P & Gとその製品について、最新の詳しい情報は、米国本社ホームページ <https://us.pg.com> (英語) をご参照ください。その他のP & Gのニュースについては、<https://us.pg.com/blogs> (英語) をご参照ください。